

三芳悌吉 生誕百周年記念

# 砂丘物語

## 原画展

【開催期間】  
2010(平成22)年  
4月24日(土)  
～  
6月13日(日)

大きく変化する大正期の新潟市で、幼い悌吉とその家族はひたむきに生きていました。大切な人々と過ごした少年の日の記憶を、画家三芳悌吉がこまやかに描き出します。

### ■『砂丘物語』あらすじ

物語の舞台は大正期新潟市。父の急死により、母ヨセと新潟市に移住した少年悌吉。母の再婚相手の三芳熊三郎と上大川前通の路地の借家に住みはじめる。悌吉の成長とともに、小路から通りへ、さらにはぎわう本町市場や広大な砂丘へと、少年の世界は広がっていく。親族や近隣の人々との交流、家族が遭遇する出来事など、大正期新潟市に生きた市井の人々のくらしが語られる。

### ■『砂丘物語』主な登場人物



三芳悌吉

物語の主人公。路地の借家に住み、さまざまな出来事を経験しながら成長していく。



ヨセ

悌吉の母。夫に先立たれ、かつて働いた新潟市に戻る。熊三郎と再婚し、悌吉を育てる。



熊三郎

悌吉の義父。ヨセより18歳年上。悌吉には気難しい態度を見せる。行商を職業とする。



静枝

悌吉の義姉。熊三郎の娘。後に三芳一家と同居。悌吉に慕われながら、ヨセと穏やかに暮らす。



米吉

里子に育てられていた悌吉の実兄。新潟市にもどり、様々な仕事を変えながら、人生を切り開く。



### ■著者 三芳悌吉

1910年、東京に生まれる。父の急死により新潟市に移住。茂作小路・旧小澤家住宅付近で幼少年期を送った。18歳で画家を目指して上京。戦後は行動美術協会会員として作品を発表する傍ら、小説や絵本の挿画を担当し、また「ある池のものごと」(福音館書店)をはじめとする多くの自作絵本を出版。1996年に『砂丘物語』I・II巻(同)を出版した。III巻の執筆途中の2000年に死去。

(写真：三芳あや子氏提供)

## 展示構成

### ●描かれた大正期新潟市

- I 風景 「砂丘物語」I・II巻の原画のうち風景やまちなみの原画を展示します。
- II コトとモノ 衣食住のくらしや仕事に関わる道具と技術を描いた原画を展示します。
- III 人々 家族や親族、近隣の人々とのさまざまな社会関係を描いた原画を展示します。

### ●III巻の原画紹介

未刊の『砂丘物語』III巻のために描かれた原画を展示します。

### ●三芳悌吉の紹介

原画が持つ豊かな世界を読み解く楽しさを味わってもらうため、歴史資料や作中に登場する民具などをあわせて展示し、大正期新潟市の社会情勢等の解説を交えながら、「砂丘物語」が持つ豊かな歴史的世界を立体的に紹介します。

## 企画展関連イベント

申し込みは「往復ハガキ」又は「電子メール」に  
①氏名 ②住所 ③連絡先電話番号 ④参加希望する関連企画名 を記入して博物館まで。(応募者多数の場合は抽選となります。ご了承下さい。)

■展示解説会 毎週日曜日 午後2時～(30分程度) ※5/9のみ午後3時半から  
【申込】不要  
【参加費】無料(企画展観覧券が必要です)

■講演会「画家 三芳悌吉を読み解く(仮題)」  
【内容】三芳悌吉の画家としての創作活動と想いを傾けた絵本作りと二つの足跡をたどりながら、その社会背景を読み解く。  
【日時】2010年5月9日 午後1時半～3時半  
【講師】本井晴信氏(新潟県立文書館副館長)  
【会場】当館セミナー室  
【定員】70名 【申込締切】4月30日(必着) 【参加費】無料

■テイクチャのあそび ※テイクチャは悌吉の愛称です  
【内容】ロウセキで地面に絵をかこう 【日時】2010年4月29日 午後2時～4時  
【申込】不要 【参加費】無料 【集合場所】旧税関と堀の間の広場 ※雨天中止

■『砂丘物語』を語り・歩く-読書会と探訪  
【内容】『砂丘物語』について語り合い、作品の舞台を歩く  
【日時】(読書会)2010年5月30日(日) 午後2時半～3時半  
(探訪会)2010年6月12日(土) 午後2時～4時  
【定員】10人 ※両日参加できる方。【申込締切】5月21日(必着)  
【参加費】無料 ※『砂丘物語』をお持ちの方は、読書会にご持参ください。  
【会場】セミナー室(読書会)

『砂丘物語』©三芳悌吉著/福音館書店刊

## INFORMATION

■観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	320円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

- 中学生・小学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。
- 開館時間：午前9時半～午後6時(観覧券の販売は閉館30分前まで)
- 休館日：4/26(月)・5/6(木)・10(月)・17(月)・24(月)・31(月)・6/7(月)

- 交通案内
- 新潟駅より：新潟市観光循環バス(犬夜叉号)で15分「歴史博物館前」バス停下車すぐ 新潟交通「昭和大橋・入船営業所」行きバスで25分「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 車で：新潟バイパス紫竹山ICより約15分(駐車場：73台収容可能)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着



〒951-8013 新潟市中央区柳島町2-10  
Tel:025-225-6111 Fax:025-225-6130  
URL <http://www.nchm.jp>  
E-mail: [museum@nchm.jp](mailto:museum@nchm.jp)